

風しんに注意しましょう！



風しんとはどんな病気ですか？

風しんは、風しんウイルスによって引き起こされる急性の発疹性感染症です。

風しんウイルスの感染経路は、せきやくしゃみなどによる飛沫感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播します。感染力は、麻疹や水ぼうそうほど強くはありません。

風しんウイルスの潜伏期間は、2～3週間です。

主な症状として発疹、発熱、リンパ腫の腫れが認められます。ウイルスに感染しても症状が出ない人が15～30%程度います。

妊婦（特に妊娠初期）が風しんにかかると、難聴・白内障・先天性心疾患を特徴とする「先天性風しん症候群」を持った赤ちゃんが生まれる可能性があります。

風しんを予防するには？

風しんの予防のためには、予防接種が最も有効な予防方法といえます。

特に妊婦を守る観点から、次に該当する方は、任意で風しんの予防接種を受けることを御検討ください。

- ①特に30代から50代の男性
- ②妊婦の夫、子ども及びその他の同居家族
- ③10代後半から40代の女性（特に妊娠希望者又は妊娠する可能性の高い者）

※1 明らかに風しんにかかったことがある、風しんの予防接種を受けたことがある又は風しんに対する抗体が陽性であると確認ができている者を除く。

※2 2回の予防接種ワクチンの接種歴については、母子手帳等で確認してください。



風しんが疑われる場合の対応は？

風しんが疑われる症状が出現した場合は、他人に感染させないように、医療機関を受診する前に電話連絡を行い、受診の時間等を確認の上、医療機関の指示に従ってください。

海外への旅行を予定されている皆様へ

- ・旅行に行く前に・・・風しんの予防接種を母子手帳などで確認し、2回接種していない方は予防接種を検討してください。
- ・旅行から帰ったら・・・旅行後2週間程度は健康状態に注意しましょう。